

高等学校第2学年 スポーツ総合演習 学習指導案

1 単元名

「スポーツを通じた社会参画に関する課題研究」

2 単元について

(1) スポーツ総合演習は、実習、体験、発表等の課題研究を通して、知識・技能の重要性を改めて認識し、情報の分析・評価、論述や熟考、評価等の言語に関する能力の育成に資するとともに、自らに適した生涯を通じた豊かなスポーツライフの実現に向けた見通しを立てるとともに、スポーツと多様にかかわることのできる能力の育成を目指したものである。また、「スポーツ概論」などで学習した知識及び各科目に関連する専門知識や身につけた高度な技能を、スポーツ実践、スポーツの指導や運営、スポーツを通じた社会参画などの場面に総合的に活用することを目的としている。

本単元では、「愛好者としての立場からスポーツを支える」という視点から体験や実習を通して、スポーツを通じた社会参画の一場面を計画した。その中で、学んだ知識や調べたことを幼児への運動プログラムとして提供するという取組を通して、「豊かな学び」を創造できる資質を育成することをねらいとする。

(2) 本単元の系統は次のとおりである。

高校入学年次	その次の年次以降
(スポーツ総合演習)	
スポーツの専門的な知識や高度な技能の総合的な活用を目指した課題研究を通して、生涯を通じた豊かなスポーツライフの実現及びスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。	
(1) スポーツの知識や実践に関する課題研究	
(2) スポーツの指導や運営及び管理に関する課題研究	
(3) スポーツを通じた社会参画に関する課題研究	

(3) 生徒の実態は次のとおりである。

落ち着いた学校生活を送り、体育活動に積極的に参加している。生徒たちは、部活動にも全員が加入し、各部の中心として練習に励んでいる。

「人との関わり」についてアンケート調査を行ったところ、以下のようになった。

アンケート項目	はい	どちらでもない	いいえ
友だちといると楽しい	94%	3%	3%
人と交流することに興味がある	52%	35%	13%
子どもとの交流に興味がある	52%	42%	6%
知らない人とも協力できる	45%	39%	16%
コミュニケーション能力が高い	42%	42%	16%
自分から積極的に行動できる	58%	25%	17%
人前で話すことが得意だ	23%	29%	48%
人に教えることが得意だ	35%	39%	26%

この結果を見ると、交友関係は良好であるが、友人以外の人たちとのコミュニケーションに苦手意識を持つ生徒も多く、人と交流する場面での行動には消極的なことが推測される。

(4) 指導に当たっては次の事項に留意する。

- 幼児との交流体験を通して、学んだ知識を使って考えたことや創造したことを体現できる場を設定し、スポーツを通して多くの方々と積極的に交流できる態度を育てていきたい。
- 研究の視点①②に基づき、次のような工夫を行う。

研究の視点①

「見方・考え方」に着目した問いの工夫

- 運動の価値や特性に着目して、幼児にとっての体を動かすことの楽しさや喜びの本質と体力向上に果たす活動を考えさせる問いを工夫する。
- 「スポーツを支える」という視点から、スポーツを通じた社会参画ができる資質を育成する問いを工夫する。

研究の視点②

学びを実感する振り返りの工夫

- 毎時間の「初めて分かったこと」、前時と比較して「改善できたこと」を振り返らせ、次時に対する意欲の向上を図る。
- 『スポーツを支えること』に着目し、自分たちが社会の中でどのような役割を担うべきなのかを考えさせる契機となるように振り返りを設定した。

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	スポーツの専門的な知識や高度な技能の総合的な活用を目指した課題研究を通して、生涯を通じた豊かなスポーツライフの実現及びスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。	
関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ① スポーツの価値や特性に関心を持ち、スポーツを通して支えていこうと進んで学習に取り組もうとしている。 ② 幼児の心身の状況に気づいたり、運動の楽しさや喜びを伝えようと進んで学習に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 「スポーツを支える」という視点から、生涯スポーツとのかかわり方について、自分の考えを整理している。 ② 幼児への運動や体力の向上を図るための方法を選んだりしている。 ③ 互いのよいところや成果をとらえたり、よりよい動きや方法を選んだりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 幼児にとってのスポーツの意義や必要性について、具体例を挙げている。 ② 運動実践のための目標設定や課題の把握、実習計画の立案について、具体例を挙げている。 ③ 幼児への運動プログラムを作成・修正する方法について、具体例を挙げている。

4 指導・評価の計画（10時間取扱い 本時 8・9/10）

単元を貫く問い：子どもが身体を動かすことが好きになる運動プログラムを考えよう

次	時	学習活動	評価及び研究の視点
一	2	1 異年齢交流活動の意義を学ぶ。 2 幼児期の特性と動きについて学ぶ。	【関心・意欲・態度】①：ワークシート・観察 【思考・判断】①：ワークシート 【「見方・考え方」に着目した問いの工夫】 ○幼児の特性を予想し、事前交流でのポイントを確認できるようにする。 【学びを振り返る】 ○初めて分かったことを整理し、今後の活動に活用できるようにする。
二	2	3 幼児の運動プログラムを考える。 4 事前交流を通して幼児の動きと身体的な特徴をつかむ。 5 事前交流を通して幼児の動きと身体的な特徴をつかむ。	【思考・判断】①②：ワークシート・観察 【知識・理解】①③：ワークシート・観察 【「見方・考え方」に着目した問いの工夫】 ○幼児が運動する意味を考えることができるようにする。 【学びを振り返る】 ○付箋を使ったり、ワークシートと同様に板書をまとめたりすることで考えを視覚化する。
三	3	6 考案した幼児の運動プログラムを修正・変更する。 7 リハーサルを実施して実践する 幼児の運動プログラムを完成させる。	【思考・判断】②③：ワークシート・観察 【知識・理解】②③：ワークシート・観察 【「見方・考え方」に着目した問いの工夫】 ○幼児の動きの特徴を捉え、幼児の体力向上を図る運動を考えることができるようにする。 【学びを振り返る】 ○付箋を使ったり、ワークシートと同様に板書をまとめたりすることで考えを視覚化する。 ○体験したことをまとめ、運動プログラム作成に生かすことができるようにする。
四	3	8 交流会を通して幼児の運動プログラムを実践する。 9 10 実践を終えて、成果と課題を考える	【関心・意欲・態度】②：ワークシート・観察 【思考・判断】②③：ワークシート・観察 【「見方・考え方」に着目した問いの工夫】 ○幼児に運動の楽しさや喜びを伝えるにはどのようにしたらよいかを考えることができるようにする。 【学びを振り返る】 ○運動プログラムの成果と課題を見つけることができるようにする。

5 本時の学習（10 時間中 8・9 時間目）

(1) 目標

- ・ 幼児に運動の楽しさを伝える

展 開

過程	学 習 活 動	指導上の留意点及び評価	備考
導入 10分	<p>1 あいさつ・点呼</p> <p>2 本時の内容・目標の確認</p>	<p>○点呼・健康観察を行う。</p> <p>○それぞれの役割を確認させる。</p> <p>○安全に運動できる環境であるか確認させる。</p>	
<p>本時の目標：幼児に運動の楽しさを伝えよう。</p>			
展開 80分	<p>3 考案した幼児の運動プログラムを実践する</p> <p>生徒は教師役とコンビ役に役割を分担する。 教師役：全体説明・全体指導 コンビ役：幼児の個別指導</p> <p>(1) 貨物列車（体ほぐし運動） (2) 達磨さんが転んだ（体力を高める運動）</p> <p>①教師役とコンビ役が全体説明と見本を示す。 ②コンビ役が幼児に補助説明をし、楽曲に合わせ、幼児とともに実践する。 ③実施後、修正を加え、再実施する。</p> <p>(3) 鬼ごっこ（陸上競技） ①教師役とコンビ役が全体説明と見本を示す。 ②コンビ役が幼児に補助説明をし、幼児が実践する。 ③実施後、修正を加え、再実施する。</p>	<p>○本時の目的を確認させることで、幼児に対する配慮事項を自覚させる。</p> <p>【研究の視点①】 幼児に運動の楽しさや喜びを伝えるにはどのようにしたらよいかを考えることができるようにする。</p> <p>○幼児をよく観察し、ケガや事故の防止を図る。 ○幼児のことを考えた言葉遣いや行動を促す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価：思考・判断（観察） B基準：幼児のつまづいているポイントを把握し、修正点を伝えている。 A基準：B基準に加え、具体的な方法を提示しながら修正点を伝えている。</p> </div> <p>B基準に達していない生徒への手だて ○他の生徒の幼児に対する行動を観察させ、改善する方法を考えさせる。 ○幼児がつまづいているポイントを提示し、改善する方法を気づかせる。</p> <p>○幼児の体調把握等を促す。 ○幼児の運動を楽しめているか、体力の向上につながっているか考えさせる。</p>	
整理 10分	<p>4 学習のまとめ</p> <p>(1) 今回の実践について、ワークシートにまとめる。</p> <p>(2) 振り返り</p>	<p>○それぞれの役割について、成果と課題を振り返らせる。</p> <p>○生徒に自分の成果や課題を発表させる。</p> <p>【研究の視点②】 運動プログラムの成果と課題を見つけることができるようにする。</p>	ワークシート